

# 福島国際研究教育機構の施設整備

令和7年7月29日

復興庁

## F-REI施設整備の経緯

- 令和2年12月 国際教育研究拠点の整備について（復興推進会議決定）
- 令和4年3月 福島国際研究教育機構基本構想を策定（復興推進会議決定）
- 令和4年9月 福島国際研究教育機構の浪江町川添地区への立地決定（復興推進会議決定）
- 令和5年4月 福島国際研究教育機構 設立
- 令和5年9月 浪江都市計画研究施設「福島国際研究教育機構」として都市計画決定（浪江町）
- 令和5年10月 用地取得に着手
- 令和6年1月 福島国際研究教育機構の施設基本計画を決定（復興大臣決定）
- 令和7年4月 起工式開催、造成工事に本格的に着手

# F-REI 起工式

令和7年4月26日(土) 復興庁主催で「福島国際研究教育機構 起工式」を開催

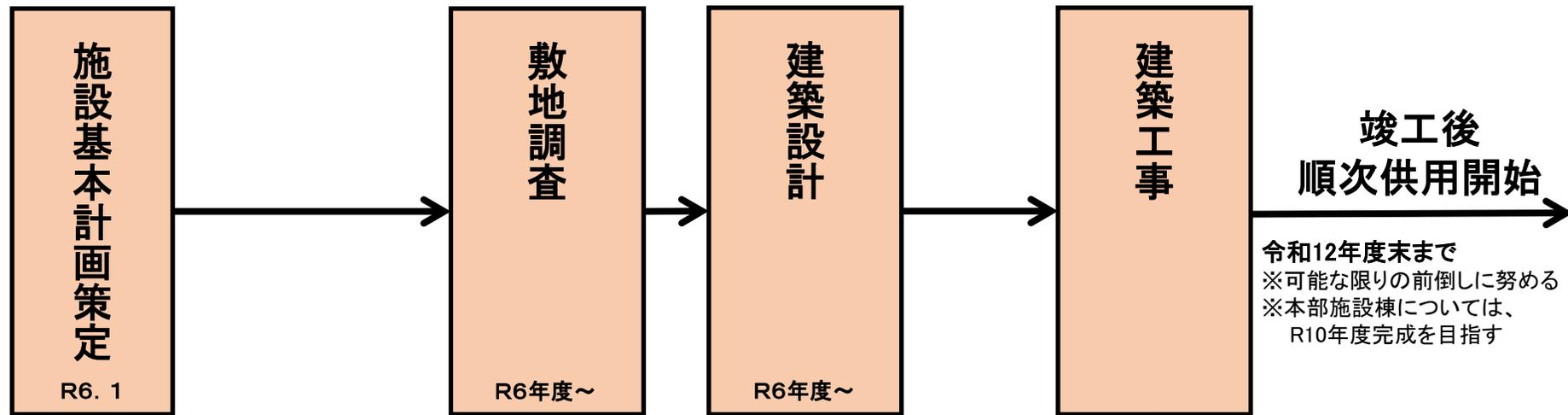


現在、敷地造成工事を推進

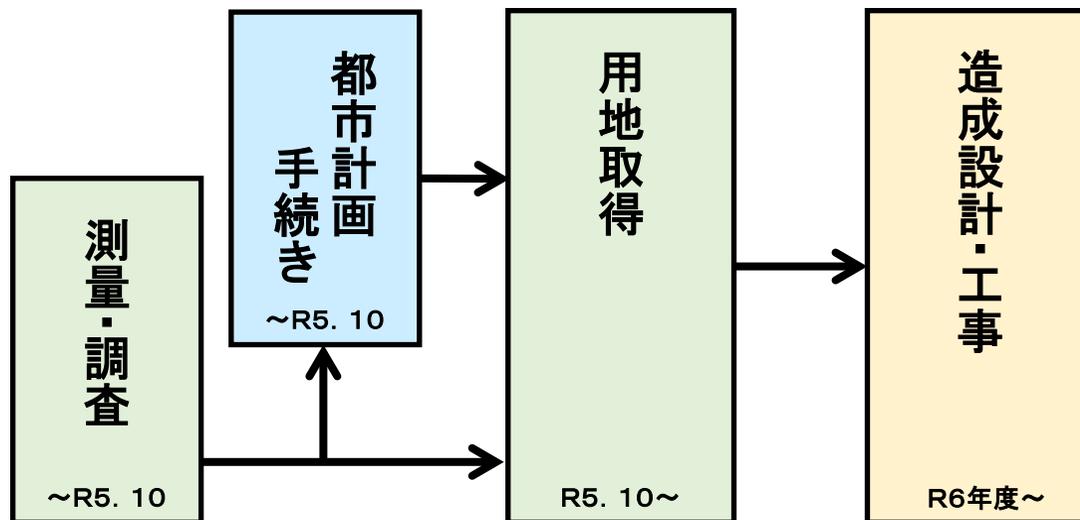


# F-REI 本施設整備の進め方（イメージ）

## 建物関連

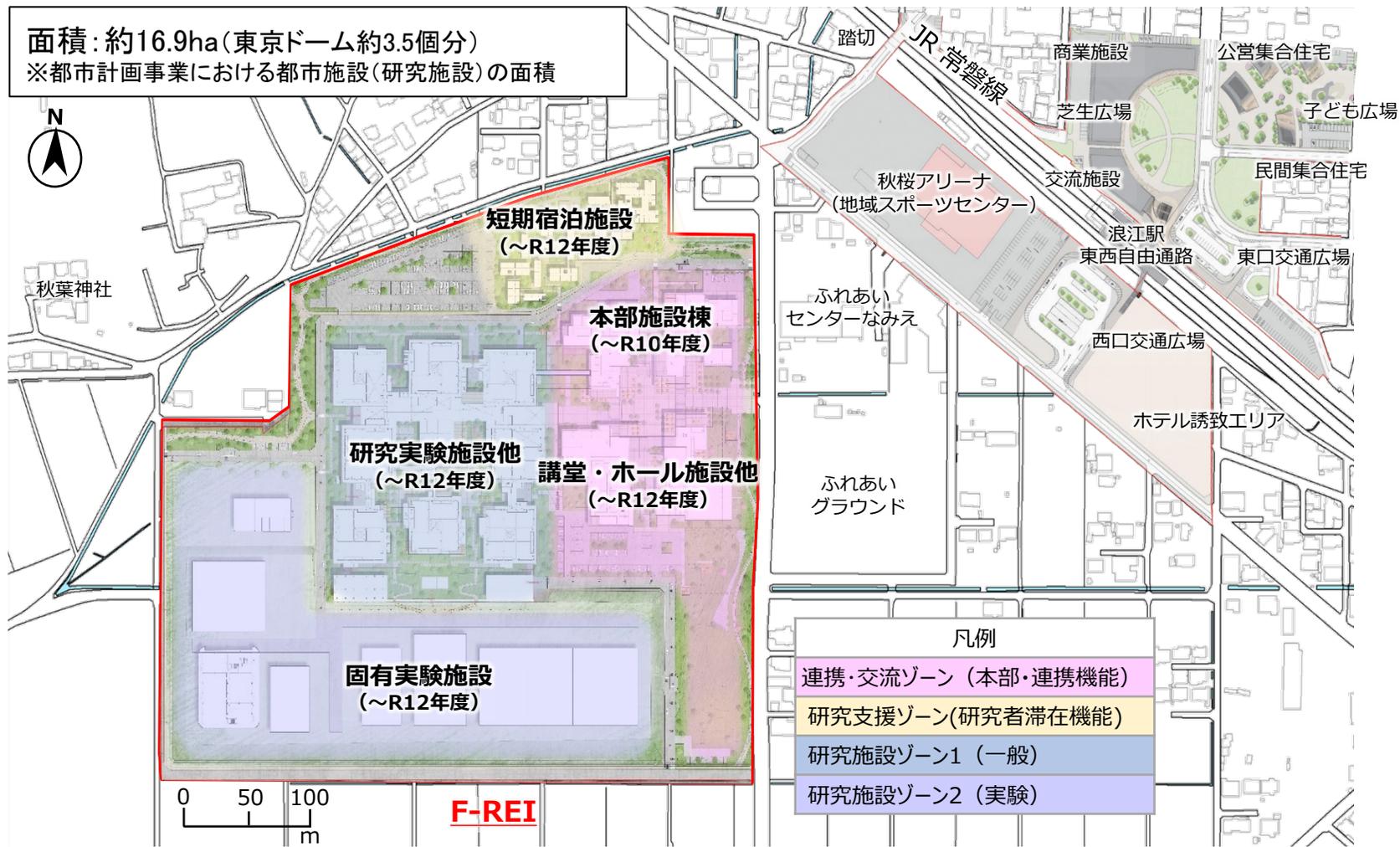


## 敷地関連



# F-REIの施設整備

本部施設をはじめ連携・交流機能をまち側(東側)に、研究施設を中央～南側へ配置

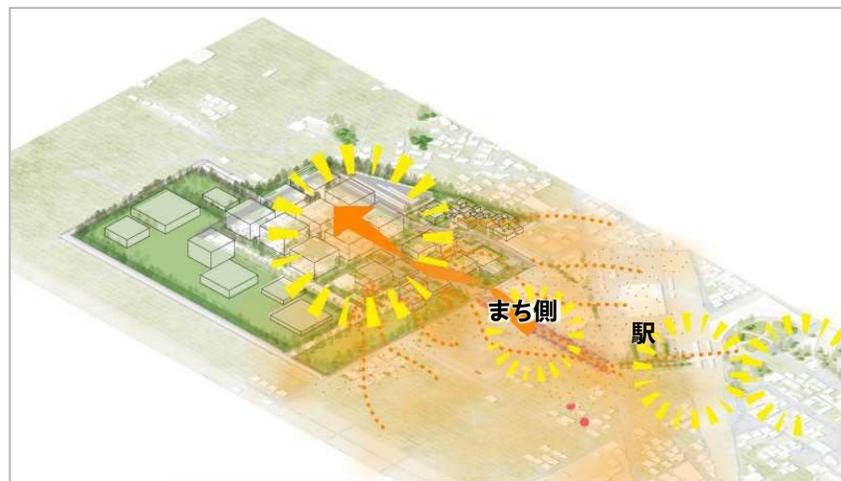


地図出典: 国土地理院  
 浪江駅周辺整備計画部分出典: 浪江駅周辺整備事業の平面図(令和5年2月3日区域変更)を加工  
 整備イメージは日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体より提供  
 ※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

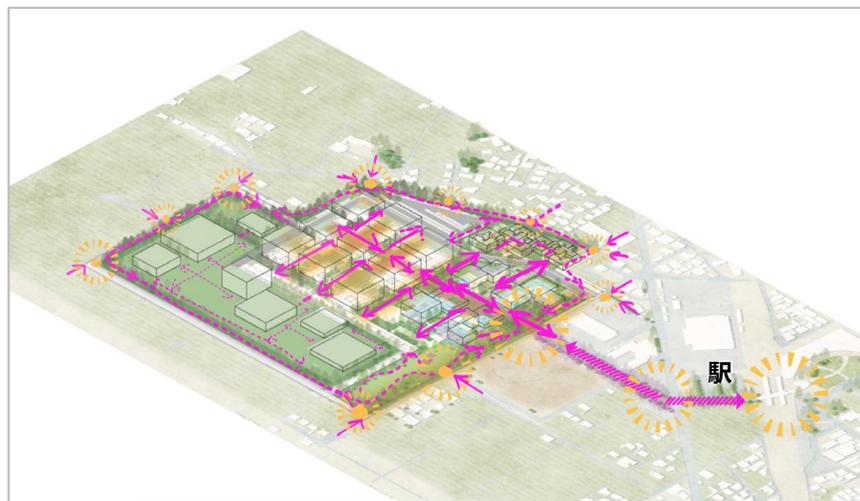
# 周辺環境や景観に配慮した施設づくり



**自然環境を活かした緑の形成**  
(つつむ緑:防風、ひらく緑:交流・四季感など)



**駅・まちから人を呼び込み  
交流の中心となる賑わい軸の創出**



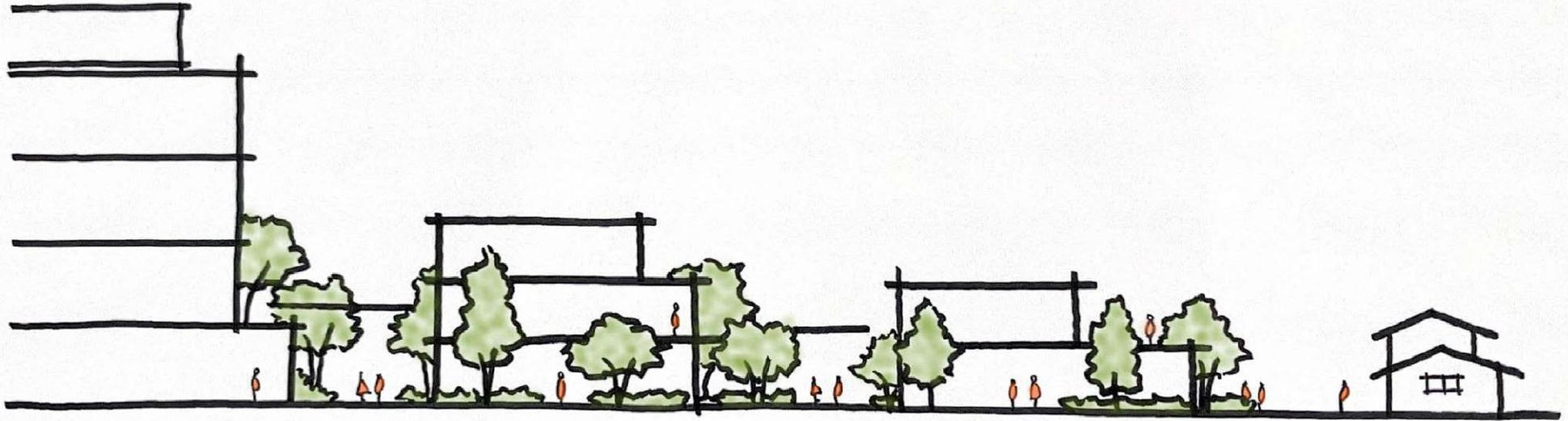
**施設間や周辺のまちとの  
つながりをつくる歩行者ネットワーク**



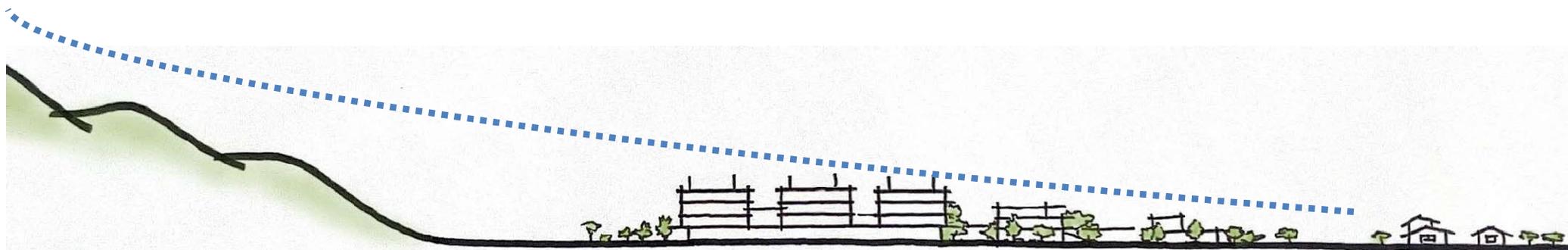
**建築機能と一体となった  
多様な交流空間**

日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

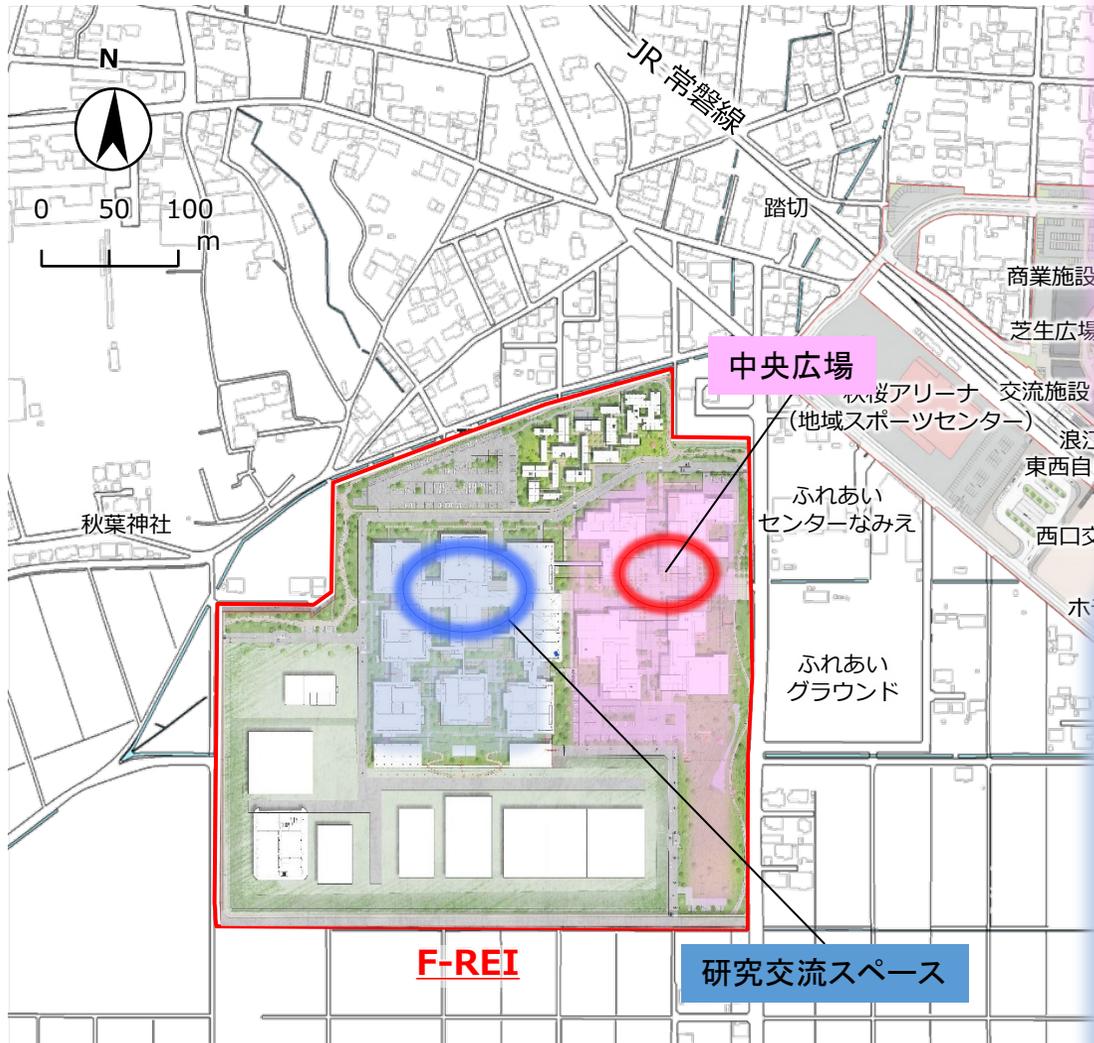
周囲の街並みに馴染むよう、低層分散型の建物配置



浪江駅側から阿武隈山地に向けて徐々に建物高さを高くする地形に馴染むスカイライン



## F-REIを訪れる人との交流、研究者相互の交流・企業との交流を促す空間を創出



## F-REIを訪れる人々の交流



- ・中央広場
- ・カフェ・食堂
- ・保育所
- ・店舗
- ・講堂・ホール
- ・イベントスペース

## 研究者や企業・大学等の交流



- ・研究交流スペース(日常的な交流を促進)
- ・産学連携交流スペース(企業等との共同研究)

日建設計・日本設計・パンフィックコンサルタンツ設計共同体提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

# F-REIの整備イメージ

風土・景観と調和し、ヒューマンスケールを意識した低層の建物を分棟配置

現況

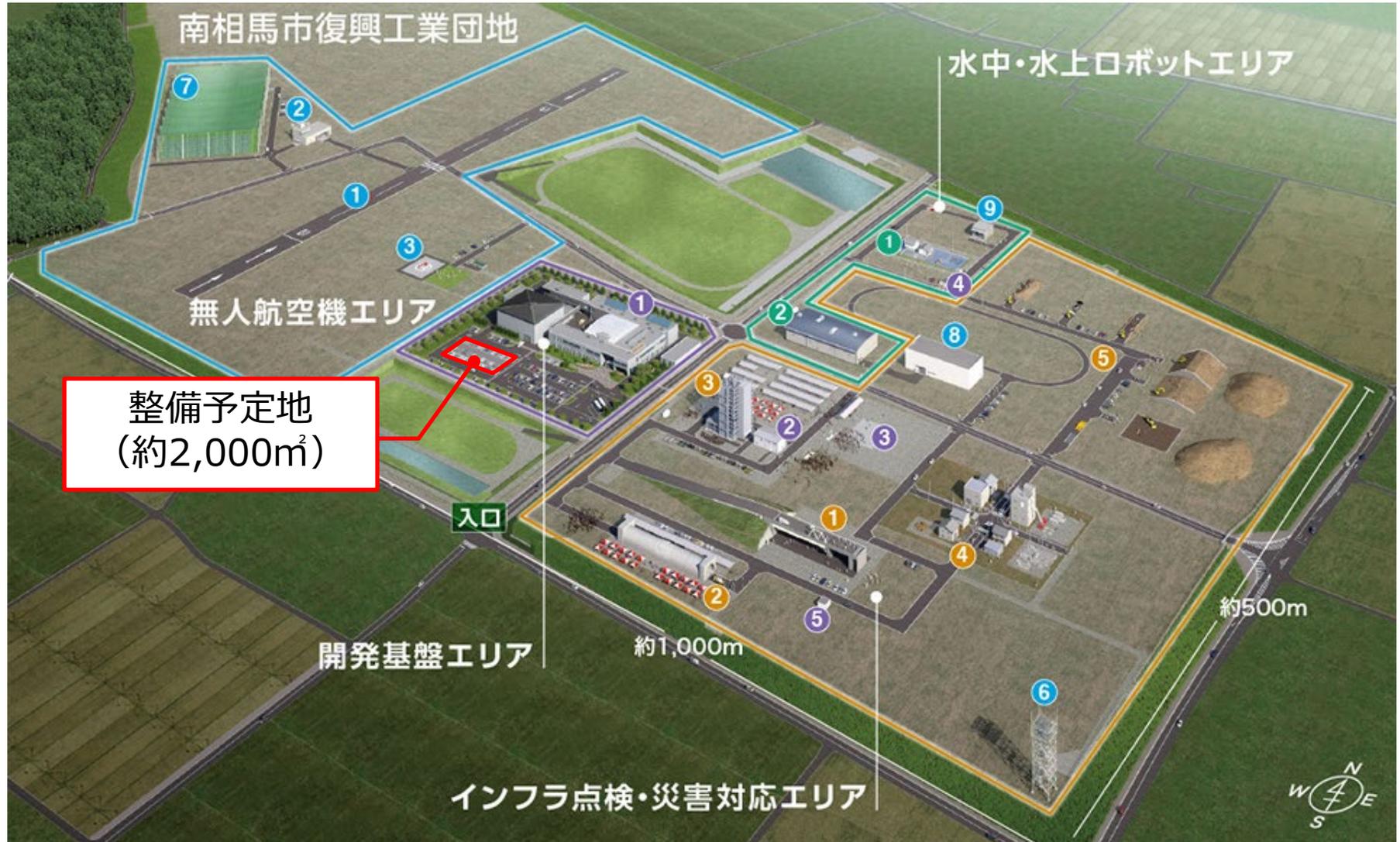


ふれあいグラウンド

ふれあいセンターなみえ

日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

## 開発基盤エリア研究棟の南側駐車場へ実証準備棟を整備



出典: 福島ロボットテストフィールドホームページ「施設・付属設備」 エリア全体図を加工

# 実証準備棟の整備イメージ

ロボット等研究機材の組立・調整や実験スペースを整備



写真：福島ロボットテストフィールド提供(2020年2月撮影) 整備イメージ図：(株)エーシーエ設計提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある